



日出谷小だより

学校教育目標【明日をつくる日出谷の子】

子供への SNS 規制 世界の潮流

～それでも子供に自由にスマホを使わせますか？～

校長 須田 肇

SNS やスマートフォン（以下スマホ）は、情報入手や発信、連絡、コミュニケーションの手段としてとても便利です。

しかし、近年は子供が犯罪に巻き込まれたり、子供が犯罪を犯してしまうという問題が発生しています。考えなくてはならないのは、たくさんの子供たちが犯罪にあたり、トラブルに巻き込まれたり、トラブルを起こしたりしていることを知っているにもかかわらず、安易にスマホを子供に与え、自由に使用させている家庭がたいへん多いということです。

最近では、闇バイトに応募した中学生が強盗予備容疑で逮捕されました。匿名のやり取りから、性犯罪に巻き込まれる例も多く聞きます。小学生でも LINE でのトラブルや他人の画像・動画を許可なくネットにあげたり、名誉棄損となる内容を発信してしまったり、多額の課金をしてしまったりといった問題が次から次へと発生しています。偽情報や偏った情報などを信じてしまう危険性も含めて、SNS やスマホは、十分な判断力と責任が伴わないと正しく活用できないものであることは、間違いのないです。

「スマホが学力をこわす」等の著書がある東北大学加齢医学研究所教授の川島隆太氏が5月7日の読売新聞で、【SNS やスマートフォンには依存性と中毒性がある。また、使いすぎは脳の発達を抑制し、子供の発達に害があるというデータもある。SNS はメッセージが届いたらすぐに返信しなければいけないというプレッシャーがあり、着信音がなった途端、集中力が途切れて作業効率が途切れることがわかった。さらに5～18歳の子供の調査では、インターネットの使用時間が短い子供に比べると、長い子供は脳のうち3分の1の発達が止まり、脳の神経細胞をつなぐ大脳白質という部分はほぼ全域の発達が止まっていたという結果が出た。SNS やスマホは、アルコールや薬物と同じくらい害があり、小中学生の使用は規制すべきである。】といったことを述べています。「それでも子供に自由にスマホを使わせますか？」というのが今回の副題ですが、保護者のみなさんはどうとらえてくださったでしょうか？



現在、世界各国で子供の SNS 利用を規制する動きが広がっています。オーストラリアでは16歳未満、アメリカでは14歳未満の利用を禁止する州や規制を進めている州があるとのことです。

しかしながら日本では、目立った規制の動きは聞こえてきません。そうすると保護者や子供自身が、身を守っていかなければなりません。やってはいけないことや危険性、使用の仕方や場所・時間等のルールや親に見せられる内容であること等の約束事はしっかりと決めるべきです。そして、トラブルが起こった時は、すぐに保護者に伝え、保護者と自分の責任のもと、トラブルを大変な思いをして解決していかなければならなくなるのだということをしかりと教えてから使用させていくべきでしょう。



大人の使用についてもいえることですので、子供がスマホを持っている・いないにかかわらず、ぜひとも家庭でこの問題について十分に時間をかけて話合ってください。また、SNS やスマホ関連の事件の話題がある機会をとらえて、その都度、話合う習慣をつけられるといいですね。